

平成 30 年中の消防局の災害・救急出動状況（速報）

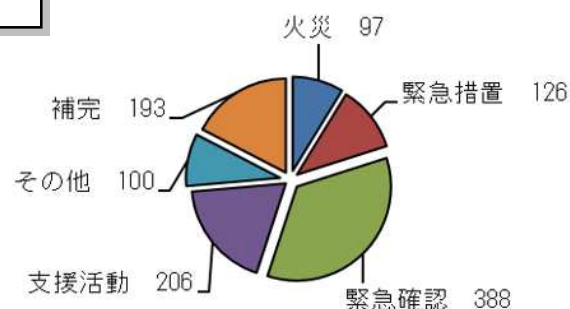
西宮市消防局

※ 統計の数値は速報につき、変わる可能性があります。

1 消防隊の出動件数

消防隊の出動件数は、前年に比べ 73 件増加

消防隊の出動件数は、1,110 件で前年より 73 件増加しました。火災と火災以外の比率は、火災 97 件（9%）、火災以外 1,013 件（91%）となっています。



※ 火災出動以外の内容については、P2
（2）火災出動以外の内訳・件数をご覧ください。

（1）火災件数

火災件数は前年に比べ 1 件増加
火災による死者は、発生していません。

ア 火災件数は増加

火災件数は 97 件で、前年（96 件）に比べ 1 件増加しました。

「建物火災」は 57 件で前年（53 件）より 4 件増加、「車両火災」は 17 件で前年（7 件）より 10 件増加、「船舶火災」は 1 件で前年と同数、「その他火災」が 22 件で前年（34 件）より 12 件減少しています。

イ 出火原因の第 1 位は「こんろ」16 件で前年（17 件）より 1 件減少し、全体の 16% を占めています。第 2 位は「放火（疑いを含む）」11 件で前年（26 件）より 15 件減少、同じく 11 件の「配線器具」は前年（3 件）より 8 件増加しています。

ウ 火災による死者は 0 名で、負傷者は 17 名発生し、前年（10 名）に比べ 7 名増加しています。

※ 火災状況については、P4 資料 1 をご覧ください。

(2) 火災出動以外の内訳・件数

消防隊出動件数のうち、火災以外の出動は1,013件で72件増加

出動種別で最も多いのは「緊急確認」、続いて「支援活動」となっています。
火災出動以外の内訳は、次のとおりです。

種 別	内 容	件数
緊急措置 (126件)	火災出動指令により出動し、火災ではなかった事案	29
	危険物等の漏えい	91
	ガスの漏えい	3
	その他緊急対応措置が必要な事象	3
緊急確認 (388件)	怪煙の上昇	31
	異音、異臭の発生	31
	警報ベル等の鳴動	279
	ガス、電気等の消し忘れ	1
	事後聞知で出動し火災に該当しない事案	18
	その他緊急確認が必要な事象	28
支援活動 (206件)	救急隊の支援	52
	安全管理隊	151
	上記に該当しない支援活動	3
その他 (100件)	自然災害対応	12
	飼育動物等の保護、危険生物等の排除	5
	焚き火、野焼き、火遊び等	1
	高齢者、身体障害者等の介助	75
	その他社会的危険が考えられる事象	7
補完 (193件)	救急隊の移動配備	163
	救急隊以外の移動配備	30

2 救助出動件数

前年より出動件数・救助人員ともに増加

- (1) 救助出動件数460件、救助人員259人
救助隊が出動した件数は460件で前年(452件)より8件増加、救助人員は259人で前年(233人)より26人増加しました。
- (2) 事故種別は1位「建物事故」
事故種別ごとに見ると、1位「建物事故」205件で全体の45%を占め、2位が「その他の事故」182件となっています。

※ 救助出動件数等については、P5資料2をご覧ください。

3 救急出動件数

前年より出動件数・搬送人員ともに増加

- (1) 救急出動件数24,723件、搬送人員数22,659人
救急出動件数は、24,723件と前年(23,059件)より1,664件、搬送人員数は22,659人と前年(21,110人)より1,549人と双方ともに増加し、過去最高となっています。
- (2) 事故種別は昨年同様1位急病、2位一般負傷
事故種別ごとの出動状況は、1位「急病」16,006件で、全体の65%を占めています。2位のやけどや骨折などの「一般負傷」は4,080件で、3位「交通事故」は1,689件となっています。

※ 救急出動件数等については、P5資料2をご覧ください。

◆資料 1

1 平成 30 年中の火災状況

平成 31 年 1 月 1 日現在

区 分		単位	平成 30 年	平成 29 年	比 較	増減率
火災件数		件	97	96	1	1%
1 日当たり		件	0.3	0.3	0	—
火 災 種 別	建物火災	件	57	53	4	8%
	(内、住宅火災)	件	38	34	4	12%
	林野火災	件	0	1	▲1	▲100%
	車両火災	件	17	7	10	143%
	船舶火災	件	1	1	0	—
	その他火災	件	22	34	▲12	▲35%
建物焼損面積		m ²	430	371	59	16%
1 件当たり		m ²	4.4	3.9	0.5	13%
林野焼損面積		a	0	18	▲18	▲100%
損害額		千円	138,706	33,056	105,650	320%
死 傷 者	死者	人	0	0	0	—
	(内、65 歳以上)	人	0	0	0	—
	負傷者	人	17	10	7	70%
主 な 出 火 原 因	(1) こんろ	件	16	17	▲1	▲6%
	(2) 放火 (疑いを含む)	件	11	26	▲15	▲58%
	(3) 配線器具	件	11	3	8	267%

※ 主な出火原因は、平成 30 年の上位を計上

▲印は減少

主な火災

出火日時	種別	用途	発生場所	死者	負傷者	備考
1 月 16 日 5 時 45 分	建物	複合用途	一ヶ谷町	0	2	損害額～ 10,144 千円
3 月 12 日 9 時 45 分	建物	共同住宅	荒木町	0	1	損害額～ 10,780 千円
9 月 4 日 14 時 50 分	車両	車両販売	甲子園浜 2 丁目	0	0	損害額～ 52,145 千円
10 月 31 日 1 時 00 分	建物	一般住宅	剣谷町	0	0	損害額～ 53,000 千円

※ 主な火災とは、損害額 1,000 万円以上、焼損面積建物 300 m²以上、林野 200 a 以上、又は消防長が必要と認める火災のいずれかに該当するものをいう。

◆資料 2

2 救助出動件数及び救助人員

事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
出動件数	8	36	11	5	12	205	1		182	460
救助人員	4	27	6	2	8	174			38	259

3 救急出動件数

事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
平成 30 年	14	9	8	1,689	175	258	4,080	95	158	16,006	2,231	24,723
対前年増加数	6	5	▲3	▲126	4	33	271	0	▲28	1,402	100	1,664

▲印は減少

4 救急出動件数・搬送人員数の推移

